

目 次

I . 総括研究報告

- 生体試料バンクを有効活用した食品および母乳の継続的モニタリング
----- 1
小泉 昭夫

II . 分担研究報告

- 1 . 汚染が懸念される物質のモニタリング
(1) 日中韓の食事および母乳中に汚染の懸念されるフェノール性
ハロゲン化合物の残留調査 -----19
原口 浩一
(藤井 由希子)
2. 汚染が懸念される物質のモニタリング
(2) 生体試料バンクの保存試料を使用した食事経由の PFCAs 摂取量
と血清中濃度の動向調査 -----35
小泉 昭夫
(藤井 由希子)
3. 汚染が懸念される物質のモニタリング
(3) 東日本大震災後の宮城県における母親の母乳中残留性有機汚染物
質の検討 -----41
小泉 昭夫
原田 浩二
(藤井 由希子)
- 4 . 炭素鎖の異なる有機フッ素カルボン酸のヒト・マウス体内動態モデル
-----47
小泉 昭夫
原田 浩二
小林 果
(藤井 由希子)
(新添 多聞)

5. 系統的持続的な試料の収集と他機関への試料の提供 -----76

小泉 昭夫
原田 浩二
小林 果
(人見 敏明)
(藤井 由希子)
(新添 多聞)

6. 都市圏水環境における残留性有機フッ素カルボン酸の排出源推定 -----79

小泉 昭夫
(新添 多聞)
(藤井 由希子)

() は研究協力者。

III . 研究成果の刊行に関する一覧表 ----- 106

IV . 研究成果の刊行物・別刷 ----- 108